

佐久市公民館運営審議会 会議次第

日 時 令和5年3月24日（金）
午後3時30分～
場 所 生涯学習センター 大会議室1

1 開 会

2 井出会長あいさつ

3 会議事項

(1) 佐久市教育振興基本計画について（資料1）

前回の審議会時点の施策から表現・趣旨が改まった部分を赤字でお示ししました。当時は公民館に関連するものや、ご意見を頂いた事項に関し、ご説明させていただく予定です。

(2) 参加者アンケート調査報告書（令和4年度）について（資料2）

(3) 公民館関係施設の利用状況について（資料3）

(4) 令和5年度学級・講座事業計画について（資料4）

(5) 生涯学習センターの概要について（別添パンフレット）

(6) その他

4 閉 会

（閉会後、館内をご案内します）

教育振興基本計画案における社会教育部関係施策一覧表

資料1

(1)未来を拓く学びの推進

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考
ア 個別最適な学びと協働的な学びの推進			
イ 幼児教育から高等教育まで切れ目ない連携と支援の充実			
ウ ICTを活用した教育の推進	図書館及び公民館では、地域の情報拠点として、知識や情報資源を蓄積・保存・提供するとともに、市民の情報及び情報伝達手段を主体的に選択し、活用していく能力の向上に資するための取組を推進する必要があります。	図書館及び公民館では、市民の情報活用能力の向上を支援するためICT等を使った学習機会の提供に努めるとともに、そのための環境整備に努めます。	公民館としても必要な施策として追記
	近代美術館には、多くの収蔵資料があることから、ICTを活用し、その価値を伝え、学びに生かす環境づくりに取り組み必要があります。	近代美術館では、収蔵資料の写真等のデジタル化を推進するとともに、ICTを活用した学びの環境づくりを推進します。	
エ 急激な社会変化とグローバル化に対応した教育の推進	外国の文化・宗教・価値観等に触れる機会を提供するため、佐久市ふるさと創生人材育成事業として、市内の中学生が姉妹都市であるエストニア共和国サク市、友好都市であるモンゴル国ウランバートル市を訪問する「中学生海外研修」や両国の生徒を迎える、市内小・中学校での授業体験などの交流を行う「子ども交流研修」を実施しています。毎年継続的に相互交流ができるよう、社会情勢の変化など外的要因に左右されない交流方法などを検討する必要があります。	佐久市ふるさと創生人材育成事業「中学生海外研修」、「子ども交流研修」で、外国の文化などに触れる機会の充実を図るために相互渡航による交流を実施するとともに、インターネットなどを活用したSNSやリモートでの交流を行います。	
オ 自立に向けたキャリア教育の推進			

(2)全ての子どもの状況に応じた学びの保障

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考
ア 特性に応じた特別支援教育の推進	図書館では、障がいや様々な特性を持つ方に、その人に合った学びの機会を提供するため、LLブックやDAISY(視覚障がい者のためのデジタル録音図書)資料の充実に努めるとともに、その資料内容や使い方など、必要とされる方への情報提供に取り組む必要があります。	図書館では、インクルーシブな学びの推進のため、DAISY資料やLLブック等、利用者の様々な特性に応じた図書館資料の収集と提供を推進するとともに、積極的な広報に努めます。	
イ 環境に応じた就学援助等の充実			
ウ 多様な子どもの学習機会の保障			
エ 不登校対策の充実			

(3)家庭や地域の教育力の向上に向けた支援

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考
ア 地域の中で学びあえる体制の充実	地域での市民の多様な生涯学習活動を支援するため、様々な分野の指導者や専門知識を有し助言ができる人材情報を佐久市生涯学習リーダーバンクに登録し情報提供していくが、新規登録者数や情報提供依頼数が少ないことから、制度についてわかりやすく、かつ広く周知する必要があります。	生涯学習活動に関する指導的役割を担う人材を育成するとともに、専門知識を有する人材情報を収集し、佐久市生涯学習リーダーバンクへの登録を促進します。 学びたいという意欲のある市民が、指導や助言を得ることで生涯学習の場をつくることができるよう、広く佐久市生涯学習リーダーバンク制度と人材情報を周知します。	
	近代美術館では、コレクション展や展示会などを開催し地域で芸術に触れ、学ぶ機会を創出するとともに、視聴覚室を市民ギャラリーとして提供しています。地域における芸術活動・進行等の担い手を育むため、対話型鑑賞の充実や、十八歳未満の観覧者の増加に取り組む必要があります。	近代美術館では、市民の展覧会鑑賞機会を増やすとともに、日認知能力を高める対話型鑑賞の充実に努めます。また、対話型鑑賞を体験した人々の、ファシリテーターとしての活躍の場を作るとともに、十八歳未満の観覧料無料を試行し、将来の芸術活動・振興等の担い手の育成に努めます。	
イ 保護者に寄り添う家庭教育の推進			
ウ 情報化社会の変化に応じた教育の推進	図書館では、価値観が複雑、多様化する中、市民ニーズに応じた資料・情報収集をするとともに、情報処理機能の向上や有効かつ迅速なサービスを提供できる体制が必要なことから、通信環境の整備も含め更なる図書館機能の向上に取り組む必要があります。	図書館では、インターネットやデータベースなどの活用を含めたレファレンスサービスやレフューラルサービスの充実・向上を図ります。また、市民の生活や仕事に関する課題や、地域の課題解決に向けた活動を支援するサービスの提供を図ります。	
エ 生活習慣を身に付けるための指導の充実			

(4)生涯にわたりともに学ぶ力の育成

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考
ア 生涯学びを重ねる取組の推進	人生100年時代が到来しようとする中、生涯学習活動が多様化するとともに、様々な学習に取り組む意欲が増えていることから、生涯学習に関する情報を広く周知するとともに、学びたい人のニーズに応じた情報を提供する必要があります。	生涯学習活動における学びへの関心を高めるとともに、参加を促進するため、毎月、生涯学習に関する情報を集約した生涯学習情報「マナビイさく」を作成し、公共施設への掲示だけでなくSNSなどの多様な媒体を活用し生涯学習情報の発信に努めます。	
	市民が求めている学習機会を提供するため、学びに対する市民ニーズを把握する必要があります。	生涯学習に関するニーズを把握するため、講座などの参加者に対するアンケート調査や、インターネットを活用した調査などを実施し、学びたい方のニーズに応じた各種講座の充実に努めます。	
	文化、芸術、歴史、科学といった様々な学びの場となる観覧系の文化施設では、各施設の特性を活かし、歴史講座や展覧会、天体観望会、ワークショップなど様々なイベントを開催する必要があります。	観覧系の文化施設では、所蔵する資料の充実を図り施設の魅力を向上させるとともに、調査研究を深め資料を活用した展覧会や講座などを開催します。	
イ 発達段階・ライフスタイルに応じた読書活動の推進	部活動は中学校における生徒数の減少の加速化により維持が困難になってきていることや、教員の業務負担が大きくなっていることなどから、将来にわたり子どもたちがスポーツや文化活動に継続して親しむことができる機会を確保していく必要があります。	中学生の部活動において、学校部活動から地域部活動への円滑な移行が図られるよう、スポーツ推進委員、各種競技団体及び文化団体など専門的知識を有する人材及び地域と連携強化を図ります。	部活動全体に関する記述に修正
	図書館では、発達段階に応じた図書の整備・提供や読書活動推進のための読み聞かせ等の実施に取り組んでいます。また、保護者等に向けた講座を行っていますが、展示会等の実施や学校等の教育施設との連携を深めていく必要があります。	利用者のニーズに応じた図書館資料の収集と提供に努め、図書館サービスと新たに導入した電子図書館サービスの充実を図るとともに、関係施設・機関・団体と連携を深め、生涯学習活動を支援する機能の充実を図ります。	

(5)豊かな「こころ」を育む学びの推進

教育振興基本計画案における社会教育部関係施策一覧表

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考
ア 道徳教育・人権教育の推進	人権が尊重される街づくりを進めるため、生涯にわたりライフステージのあらゆる場面において人権同和教育を推進する必要があります。	市民一人ひとりの人権意識の高揚を図るために、地域における人権同和教育講座の開催や、企業における人権同和教育研修会の開催を推進します。	左記のとおり人権同和課で記載
イ 男女共同参画社会に向けた取組の推進	生涯にわたり市民がより豊かな人生を送るための活力源となるよう、様々な文化・芸術に親しむ機会の充実を図るとともに、市民の文化・芸術活動の場の提供と活動の促進を図る必要があります。 文化芸術活動の振興には長期にわたり継続的な取り組みが必要になることから、文化振興基金運用益を効果的に活用し、現在の取組みの継続や見直しのほか、新たな取り組みを検討する必要があります。 幼少期から文化・芸術に親しむことは、子どもたちの文化・芸術活動に対する意識の醸成に大きく影響することから、鑑賞や参加の機会を充実させる必要があります。 人口減少や少子高齢化等を背景に、文化・芸術活動においても後継者不足や活動資金の減少による活動の縮小傾向が懸念されることから、若い世代を含めた様々な人たちが魅力を感じ、新たな担い手となることにつなげる必要があります。	多様な文化・芸術に触れる機会の提供と充実を図るために、関係団体と連携し魅力的なイベントを企画・開催します。 文化振興基金運用益の活用については、より多くの方が気軽に文化芸術に親しみ、参加できるような事業の内容を企画する必要があることから、市文化振興推進企画委員会からの意見のほか、市民アンケート等も参考にニーズを踏まえた検討を図ります。 学校や各種団体と連携し、次代を担う子ども達や市民が優れた文化・芸術に親しむ機会の提供と充実を図るとともに、これにより感性と創造性が磨かれ、未来の文化・芸術活動を担う人材育成を推進します。	
ウ 多様な文化・芸術活動の促進	文化関連施設の連携強化と魅力を高めるため、情報共有のほか共同企画事業の実施に関する協議などの文化施設館長会議を開催しています。 歴史講座、絵画展や天体観望会、ワークショップなどの様々なイベントを開催し、観覧系施設の利用者増加を図る必要があります。 近代美術館では市民の美術活動の発表、交流の場として、公募展を開催しています。また、視聴覚室を「市民ギャラリー」として貸し出すなど、地域の芸術活動への支援を実施しています。	「佐久市芸術文化活動事業補助金」や「佐久市芸術文化振興激励金」などにより、自主的な文化・芸術活動を支援することで新たな担い手や若い世代の育成を推進します。	
エ 社会活動など体験を通した学びの推進	近代美術館では、収蔵資料の特性を生かしたコレクション展を開催しており、観覧者から高い評価を得ていますが、まだ来館したことのない市民もあり、広報など情報発信に取り組む必要があります。また、充実した約3400点の収蔵資料には制作から50年以上経過したものが多くあります。充実した約3400点の収蔵資料には制作から50年以上経過したものが多くあります。また、充実した約3400点の収蔵資料には制作から50年以上経過の	各施設の特色を生かした共通したテーマによる企画展の開催を進めるとともに、公民館、図書館、美術館を含めた社会教育施設・文化施設の相互連携による取組を進めます。また、観光など他分野との連携による新しい魅力づくり、多くの人が訪れる魅力ある施設運営に努めます。	
オ いじめ防止対策の充実			

(6)健やかな「からだ」を育む学びの推進

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考
ア 生涯スポーツの振興・体力・運動能力の向上	中学校の部活動では、生徒数の減少により、学校単位での活動の維持が困難になっています。また、競技経験のない教員が指導せざるを得ない場合がある等、教師にとって大きな業務負担となっていることから、国が示している部活動の地域移行の動向も注視しつつ、部活動指導員や外部指導者の活用を推進するなど、生涯にわたり子ども達がスポーツに継続して親しむ機会の確保に取り組む必要があります。	中学生の運動部活動において、まずは休日の運動部活動から協議や地域の実情を踏まえた円滑な移行を段階的に進めため、教育委員会内にプロジェクトチームを編成し、地域や競技団体との協議を進めます。	まずは運動部活動について取り組む旨を記載
イ 競技スポーツの振興・スポーツによる交流の創出	性別や年齢、障がいの有無などを問わず、全ての市民が生涯にわたり心身ともに健康で暮らせること、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりを進める必要があります。 市民が生涯にわたりスポーツに親しむためには、地域スポーツを支えているスポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなどの関係団体が重要な役割を担っており、今後も安定的かつ継続的な活動ができる環境をつくる必要があります。	ライフケースティージャやライフスタイルに応じた「子ども」、「働き盛り、子育て世代」、「高齢者」、「障がい者」の、誰もが気軽に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントなどの開催により、スポーツへの参加を促進します。 地区単位のスポーツ大会などを開催することにより地域スポーツ団体を中心とした地域コミュニティの醸成を図るほか、スポーツ教室などの委託により、活発な活動促進することで、安定的かつ継続的な運営の支援を図ります。	
ウ 食に関する学びの推進と安心・安全な学校給食の充実	中学校の部活動では、生徒数の減少により、学校単位での活動の維持が困難になっています。また、競技経験のない教員が指導せざるを得ない場合がある等、教師にとって大きな業務負担となっていることから、国が示している部活動の地域移行の動向も注視しつつ、部活動指導員や外部指導者の活用を推進するなど、生涯にわたり子ども達がスポーツに継続して親しむ機会の確保に取り組む必要があります。【再掲】	中学生の運動部活動において、まずは休日の運動部活動から協議や地域の実情を踏まえた円滑な移行を段階的に進めため、教育委員会内にプロジェクトチームを編成し、地域や競技団体との協議を進めます。【再掲】	
エ 健やかな暮らしを支える健康教育の推進	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などを契機とした各種競技スポーツの関心の高まりから、スポーツ協会や各種競技団体などと連携した、競技スポーツを振興する必要があります。 令和10年に長野県で開催予定の「国民スポーツ大会(国スポ)」「全国障害者スポーツ大会(全障スポ)」に向けて準備を進めるとともに、本市にゆかりのある選手が活躍できるよう、スポーツ協会や各種競技団体などと連携し、次世代の選手の育成や、市民の機運醸成を図る必要があります。 スポーツを通じ、性別や世代、地域などを超えて、人々が交流を深めていくことは、相互理解を深めるとともに、地域への誇りと愛着を深めることになり、地域の一体感の醸成や地域活力の向上につながるため、スポーツによる交流機会の創出を図る必要があります。 スポーツ合宿やスポーツ大会・イベントの開催は、交流人口の拡大を図り、地域における社会的な効果及び経済的な効果が期待されることから、ウィズ/ポストコロナ時代を見据えたスポーツを通じた地域活性化を図る必要があります。	トップアスリートのプレーを「みる」機会を充実させるため、プロスポーツの試合やスポーツ合宿・キャンプなどの積極的な誘致により、各種競技スポーツへの関心の高まりや参加意識の向上を図ります。 アスリートの発掘、育成、強化のため、スポーツ協会や各種競技団体と連携して、スポーツ大会などを開催し、練習の成果を発揮する機会を充実させることにより、競技力の向上を図ります。また、「国民スポーツ大会(国スポ)」「全国障害者スポーツ大会(全障スポ)」において、本市で開催予定の競技(柔道、空手道、アーチェリー、軟式野球)について、県・スポーツ協会・各種競技団体などと連携し計画的な準備及び運営体制の構築を図ります。 本市とゆかりのある都市と連携し、スポーツ交流会の開催などを通じて、人と人、地域と地域の相互交流を推進します。また、本市にゆかりのあるオリンピアンなどを招き、スポーツ教室の開催や講演会などを通して、市民との交流機会の創出を図ります。 本市の体育施設等の「スポーツ資源」を生かし、県域を超える大規模な大会などを誘致し、市外からの誘客を図るほか、年間日照時間の長さや交通網の優位性などの「地域の強み」を生かし、積極的なスポーツ合宿の誘致を推進します。	

教育振興基本計画案における社会教育部関係施策一覧表

(7)多様な学びと協働の仕組みづくりの推進

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考
ア 地域とともにある学校づくりの推進	<p>人生百年時代が到来しようとする中、学校教育のみならず、社会教育の重要性はより大きくなっています。本市では、社会教育に関する諸問題について調査研究などを行うため、社会教育委員会議を開催しています。</p> <p>社会教育に関する特定事項の指導をはじめ、学習相談、社会教育団体の育成、生涯学習関連事業など、社会教育指導員の役割は年々、重要となっています。</p> <p>地域住民への佐久市コミュニティスクールの周知が進んでおりません、地域全体で子ども達の学びや成長を支える意識を醸成する必要があります。</p> <p>図書館利用者の自主的・自発的な学習活動を支援するため、関係機関と連携した講座の開催等、学習機会を提供に努めています。今後も、多様な学びに資する学習支援や地域・団体・人がつながるような学習機会を提供する必要があります。</p> <p>中学校の部活動では、生徒数の減少により、学校単位での活動の維持が困難になっています。また、競技経験のない教員が指導せざるを得ない場合がある等、教師にとって大きな業務負担となっていることから、国が示している部活動の地域移行の動向も注視しつつ、部活動指導員や外部指導者の活用を推進するなど、生涯にわたり子ども達がスポーツに継続して親しむ機会の確保に取り組む必要があります。【再掲】</p>	<p>社会教育委員だより「そよかぜ」の発行を継続し、社会教育委員の活動内容の周知を図るとともに、定期的な会議の開催により社会教育に関する諸問題への対策を支援します。</p> <p>社会教育指導員だより「社会教育指導員の部屋」を定期的に発行し、市民に社会教育指導員の活動内容の周知を図るとともに、生涯学習関連事業など様々な場面において専門的知識を生かした支援に努めます。</p> <p>コミュニティスクールに係る研修機会や各学校・各地区での活動実施等の情報を発信することにより、保護者、地域住民、地域企業の佐久市コミュニティスクールに対する理解を促進し、地域と学校の連携・協働を推進することで、地域住民の生きがいづくりや地域の活性化に努めます。</p> <p>図書館では、自主的、自発的な学習活動を支援するため、ボランティア団体と連携し、講座の開催や図書館資料の展示など多様な学習機会の提供に努めます。また、学習活動のための施設・設備の供用、資料等の提供等により、活動環境の充実に努めます。</p>	
イ 地域・団体・人がつながる、学びの推進	<p>高齢化と新型コロナウィルスの影響により、学習グループ数の減少と地域公民館活動の停滞が顕著になっています。今後、グループ活動の中心となっている高齢の世代が活動できなくなることも懸念されるため、幅広い年代が学習グループ活動等に興味を持てるような取組を行う必要があります。</p> <p>講座等の参加者減少、施設利用者の高齢化、固定化の傾向がみられることから、多様な世代が参加しやすい講座や、時代の変化を捉えた講座の実施など、誰もが気軽に、また主体的に学ぶことのできる環境を充実する必要があります。</p> <p>性別や年齢、障がいの有無などを問わず、全ての市民が生涯にわたり心身ともに健康で暮らせ るよう、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりを進める必要があります。【再掲】</p>	<p>学習活動の主体性を高めるため、地域公民館や公民館学習グループの相談にきめ細かく対応するなど、活動を支援します。また、学習グループ新設のため、初心者向け講座を設定し、参加者による新たなグループの立ち上げを支援します。</p> <p>多世代交流や探究的な学習の場となる、学習グループと小中学生による公民館体験学習などを通じ、学習グループ活動の活性化を促進するとともに、地域における多世代の学びの場を提供することを通じて、佐久市コミュニティスクールの活動の活性化を支援します。</p>	より具体的に記載 公民館のコミュニティスクールへの関りについて追記
ウ 多様な学びの居場所づくりの推進	<p>青少年を取り巻く社会環境の変化を踏まえ、地域、学校、家庭、関係団体などと連携し、地域ぐるみで青少年を育てる体制づくり、環境づくりを進める必要があります。</p> <p>地域のつながりの希薄化により、子どもたちを地域で見守り育てる機能や、地域の防犯機能が低下傾向にあることから、子どもの見守りや非行を未然に防止するための取組を進める必要があります。</p> <p>スマートフォン等の情報通信機器の普及に伴い、青少年がSNSなどのインターネット環境におけるトラブルや犯罪に巻き込まれる事案、また飲酒・喫煙・薬物乱用などの有害環境に巻き込まれることが懸念されているため、啓発を強化する必要があります。</p>	<p>地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を醸成するため、地域の特徴を活かした育成会活動を支援するとともに、模範となる育成会活動の紹介や各種イベント情報の共有・周知を図ります。</p> <p>青少年の非行を未然に防止するための街頭補導活動や、青少年に有害な地域環境の実態調査、「青少年健全育成協力店」の登録活動などにより、青少年の健全な育成に向けた環境づくりを推進します。また、SNSなどのインターネット環境の適切な使用に関する啓発活動や、飲酒・喫煙・薬物乱用防止のための啓発の強化を図ります。</p>	
エ 地域ぐるみの青少年育成の推進			

(8)ふるさと世界の歴史・文化の学びと理解の促進

教育振興基本計画案における社会教育部関係施策一覧表

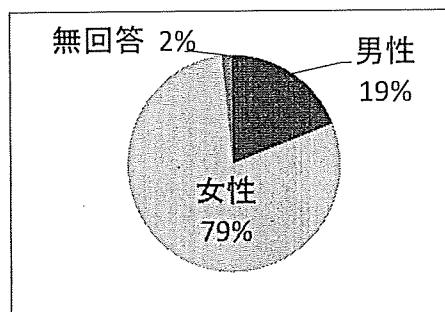
基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考
ア 世界とつながる国際理解教育の推進	外國の文化・宗教・価値観等に触れる機会を提供するため、佐久市ふるさと創生人材育成事業として、市内の中学生が姉妹都市であるエストニア共和国サク市、友好都市であるモンゴル国ウランバートル市を訪問する「中学生海外研修」や両国の生徒を迎える、市内小・中学校での授業体験などの交流を行う「子ども交流研修」を実施しています。毎年継続的に相互交流ができるよう、社会情勢の変化など外的要因に左右されない交流方法などを検討する必要があります。【再掲】	佐久市ふるさと創生人材育成事業「中学生海外研修」、「子ども交流研修」で、外國の文化などに触れる機会の充実を図るために相互渡航による交流を実施するとともに、インターネットなどを活用したSNSやリモートでの交流を行います。【再掲】	
イ 友好都市等との交流による学びの充実	銀河連邦共和国の子どもたちの友好を深めるため、毎年一回、一堂に会して銀河連邦子ども留学交流を実施しています。毎年継続的に相互交流ができるよう、社会情勢の変化など外的要因に左右されない交流方法などを検討する必要があります。	銀河連邦子ども留学交流により、お互いの郷土について紹介し合うことで学び合い、ともに過ごすことで社会性や豊かな人間性を育むための交流機会を創出します。また、海外の姉妹都市等との交流においては相互渡航による交流のほか、インターネット等を活用した交流も行い、異なる文化や言語に触ることで多文化共生についての理解を深め、国際感覚を身につける機会を創出します。	
ウ 地域を知る郷土教育の推進	外國の文化・宗教・価値観等に触れる機会を提供するため、佐久市ふるさと創生人材育成事業として、市内の中学生が姉妹都市であるエストニア共和国サク市、友好都市であるモンゴル国ウランバートル市を訪問する「中学生海外研修」や両国の生徒を迎える、市内小・中学校での授業体験などの交流を行う「子ども交流研修」を実施しています。毎年継続的に相互交流ができるよう、社会情勢の変化など外的要因に左右されない交流方法などを検討する必要があります。【再掲】	佐久市ふるさと創生人材育成事業「中学生海外研修」、「子ども交流研修」で、外國の文化などに触れる機会の充実を図るために相互渡航による交流を実施するとともに、インターネットなどを活用したSNSやリモートでの交流を行います。【再掲】	
エ 文化財の保護・継承と学びとしての活用	スポーツを通じて地域の人々が交流を深めていくことは、相互理解を深めるとともに、地域への誇りと愛着を深めることになり、地域の一体感の醸成や地域活力の向上につながるため、交流機会の創出を図る必要があります。【再掲】	本市とゆかりのある都市と連携し、スポーツ交流会の開催などを通じて、人と人、地域と地域の相互交流を推進します。また、本市にゆかりのあるオリンピアンなどを招き、スポーツ教室の開催や講演会などを通して、市民との交流機会の創出を図ります。【再掲】	
	「佐久の先人」の功績を広く周知するためには、冊子の販売やFMラジオ放送を使った紹介のほか、様々なツールや方法を検討する必要があります。	「佐久の先人」の功績を学ぶため「わがまち・佐久市民講座」や、講演会などを関係機関や関係団体と連携し開催するほか、動画配信サービスYoutubeなども活用し情報発信することで市民がより身近に学べる機会の提供を図ります。	
	文化財に対する関心を高め、郷土の歴史に対する理解を深めるとともに、郷土への誇りや愛着の心を育むため、子どもから高齢者まで多くの市民が文化財に触れる機会を創出する必要があります。	こども考古学教室、出前講座、遺跡調査報告会等の開催により、文化財及び郷土の歴史に対する興味と理解を促進するとともに、旧中込学校・龍岡城跡などの文化財や考古遺物展示室を教育資料として活用を図り、市民が文化財及び郷土の歴史を学ぶ機会を創出します。また、香坂山遺跡については後期旧石器時代の貴重な遺跡であることから、必要な調査を行い国史跡指定に向けて取り組みます。	
	図書館では、「佐久の先人」などに関わってミニ講座等を開催しています。郷土にかかわる資料を提供するだけでなく、その貴重な資料をアーカイブ化することにより後世に伝えていく必要があります。	図書館では、今後も「佐久の先人」などに関するミニ講座等を開催するとともに、先人を始め、郷土にかかわる図書館資料の展示なども行うことで、多様な学習機会の提供に努めます。	佐久の先人についてより具体的に記載
	近代美術館では、地域ゆかりの美術家の展覧会等を主要事業として実施しています。今後も地域にゆかりのある美術家、作品について常設展示や調査研究を行っていく必要があります。	近代美術館では、地域にゆかりのある美術家について、調査研究、記録を実施するとともに、展覧会により市民が作品に触れる機会を創出します。	
	文化財の滅失や散逸などの防止を図り、文化財を永く将来に継承するため、文化財をまちづくりに生かしながら、その継承に取り組む必要があります。	文化財所有者等への定期的な状況調査等を実施することにより、文化財の保護・保存に努めます。	
	少子化による人口減少や新型コロナウィルス感染症の影響により、各地域で守り、継承されてきた特色ある神事芸能等の行事が実施できず、民俗文化財を継承することが困難な状況が続いている。	無形民俗文化財の後継者の育成など、貴重な文化財を後世に伝えるため、保存会や所有者などの支援を引き続き行います。	
		市有文化財については管理を適切に行うとともに、その存在と意義等を市民に広く周知することに努めます。また、国史跡である龍岡城五稜郭については「史跡龍岡城跡整備基本計画」に基づく整備を計画的に進めるとともに、佐久の先人である築城主の松平乗謨(大給恒公)の懸賞事業を進めるなど、市民の郷土に対する誇りや愛着の醸成に資する整備に取り組みます。	
（9）学びを支える学習環境の充実			
基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考
ア 学校教育施設の充実	社会教育施設の利用状況や築年数、各々の施設の持つ役割を踏まえ、佐久市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画等に基づき管理・設備の更新や、施設の複合化・多機能化等を行う必要があります。	誰もが、いつでも社会教育活動を行うことができる環境を整備するため、佐久市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画等に基づき維持管理を行うとともに、施設の統廃合を含め計画的に設備の更新等を行うことで機能の充実を図ります。	
イ 社会教育施設の充実	文化施設には歴史的価値の高い美術品や資料等が保管されており、これらをデータ化し閲覧や公開等を行う中で幅広く広報を図る必要があります。	様々な世代が気軽に学習に取り組めるよう、市民ニーズを踏まえた公民館学習室等の機能強化や、社会教育施設内の公衆無線LAN環境の充実を図ります。また、居場所としても誰もが気軽に利用できるよう施設の環境づくりに努めます。	公民館を含む社会教育施設での機能強化について追記
ウ 学校・地域の安全対策の充実	中央図書館は、建築後43年が経過し、施設の老朽化が著しく、躯体や設備等の全体的な劣化が進んでいるため、個別施設計画に基づき、他施設との複合化も視野に入れながら建て替え再整備の検討を進める必要があります。	市民の文化・芸術活動拠点として、指定管理者制度の活用など効果的・効率的な運営に努めるとともに、計画的な整備や設備などの更新を進めます。また、収蔵品のさらなる活用に向け収蔵品管理のデジタル化を推進します。	
エ カリキュラム・マネジメントと授業改善に係る支援の充実	近代美術館では、博物館法の改正(令和4年)にともない、新しい博物館法の規程に則った運営をする必要があります。	生涯学習センター(野沢会館)は、令和4年度に本体の建設工事が完了し、令和6年度までに駐車場(外構)整備工事を完了する予定となっていることから、利用者の安全を確保しながら計画的に整備を推進します。	
オ 教職員の働き方改革の推進	近代美術館では、収蔵資料に対して収蔵スペースが不足していることから、収蔵資料の保管方法等を検討していく必要があります。	近代美術館では、登録博物館の基準に適合しているか確認し、登録審査に向けて準備します。また、収蔵資料を適切に保管するため、収蔵資料の保管方法等を検討します。	
	貸館系施設やスポーツ施設等の指定管理施設においては、市民誰もが気軽に利用しやすい施設の環境づくりと施設の利用促進を図るため、指定管理者と連携し、効果的かつ効率的な施設の管理運営に努める必要があります。	指定管理者などとの一層の連携により、利用者の利便性やサービスの向上のため、低コスト化や使用料金の電子決済システムなどの検討を推進します。	5年度より、施設予約のオンライン化に向け取り組む予定

- ◆ 調査の目的
地区館が実施している講座に伴う参加者の満足度及びニーズを把握し、次年度の事業計画に反映することを目的として調査を実施した。
- ◆ 実施公民館
浅間公民館、野沢公民館、中込公民館、東公民館、臼田公民館、浅科公民館、望月公民館 計7公民館
- ◆ 実施方法
地区館の講座・教室の終了時に調査を実施した。
- ◆ 講座数及び回答者数
講座数は148講座(浅間20・野沢19・中込26・東21・臼田21・浅科24・望月17)
ただし、シリーズものの講座であっても都度アンケートを取ったものは1講座としてカウント

該当講座参加者数 2,019人
アンケート回答者数 1,824人
回収率 90.3%

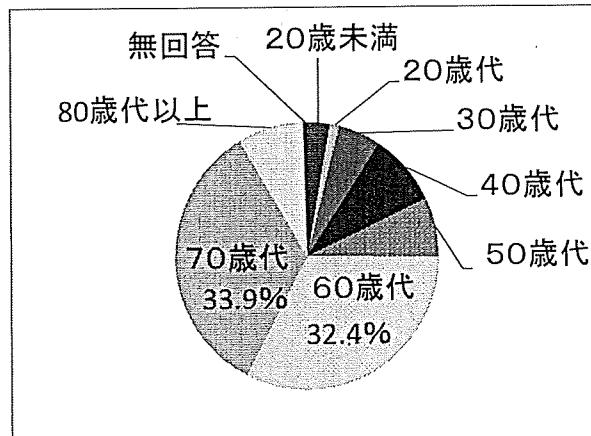
1 アンケート回答男女別割合

男性	347
女性	1,448
無回答	29
計	1,824



2 年代別

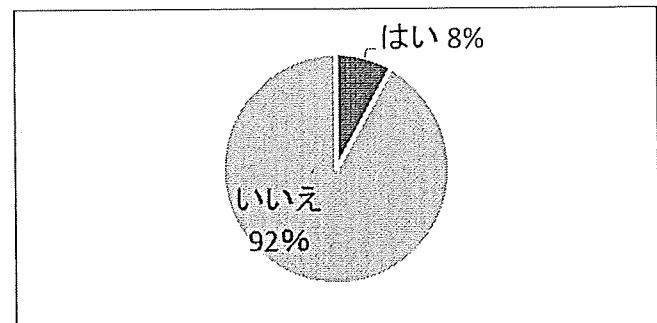
年齢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	80歳以上	無回答	計
	51	21	95	162	131	591	619	146	8	1824
計	2.8%	1.2%	5.2%	8.9%	7.2%	32.4%	33.9%	8.0%	0.4%	100%



※ アンケート調査を実施した講座は148講座。2,019人中1,824人、90.3%と多くの方から回答をいただいた。
新型コロナウイルス感染症の影響により、一部講座では定員数を減らしたり中止等もあった。
男性・女性別の割合をみると、男性19%、女性79%であった。
全体にどの講座にも女性が積極的に参加されており、男性が少ない傾向にある。
年代別にみると、60歳代以上の方が全体の75%近くを占めている。
30代以下は約9%と少なく、引き続き若者や子育て世代の参加を促す必要性がある。

3 3年以内に佐久市へ転入されましたか?

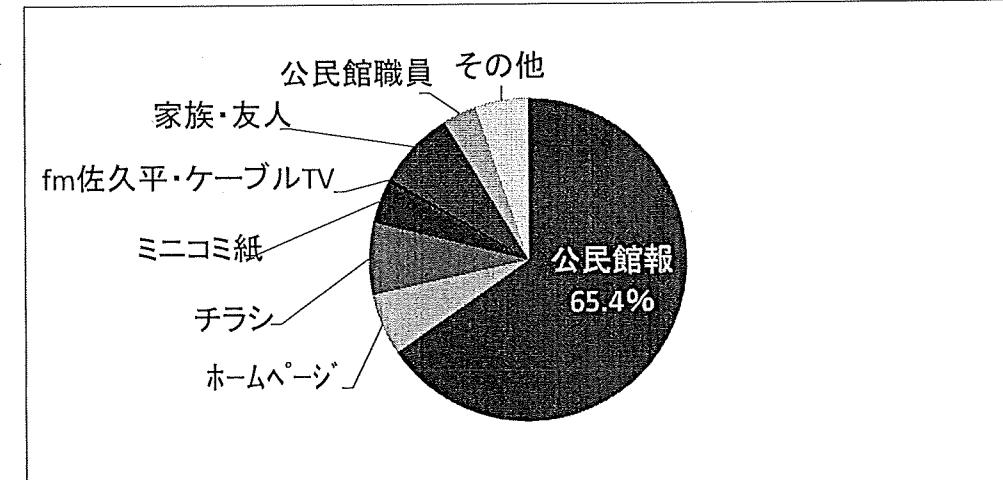
はい	いいえ	計
146	1,644	1,790
8%	92%	100%



※ 講座参加者の8%を転入者が占め、家庭菜園・料理教室・野外講座など幅広く参加いただいている。

4 講座を知った方法(複数回答)

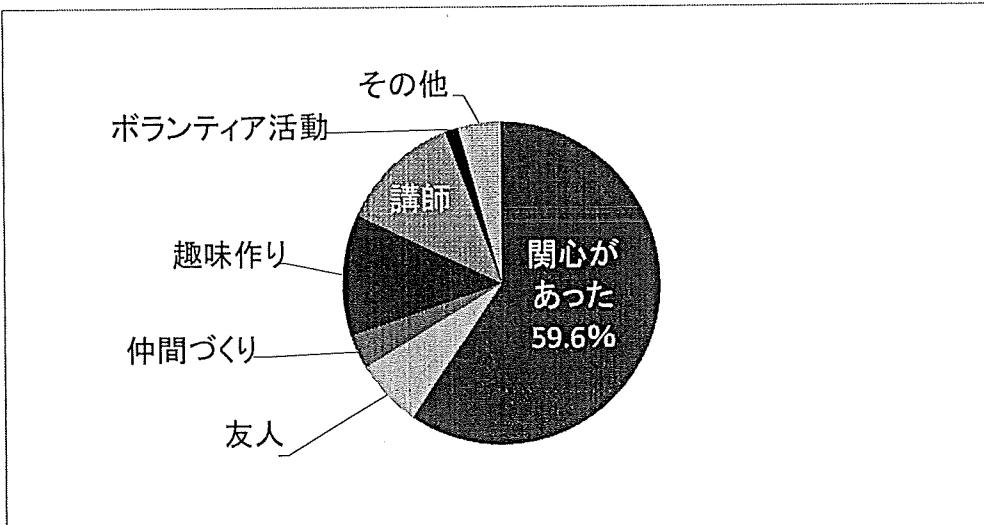
	公民館報	ホームページ	チラシ	ミニコミ誌	fm佐久平・ケーブルTV	家族・友人	公民館職員	その他	計
	1,240	118	137	81	7	149	65	100	1,897
割合	65.4%	6.2%	7.2%	4.3%	0.4%	7.9%	3.4%	5.3%	100%



※ 公民館報「おさそいカレンダー」からの学習情報を得て参加している方が65%を占める。続いて、「家族・友人からの誘い」(7.9%)や「ポスター・チラシ」(7.2%)の順で、「fm佐久平・ケーブルTV」から情報を得ている方はほとんどいなかった。引き続きより多くの媒体を通じて情報提供する必要がある。

5 講座参加のきっかけは何ですか？

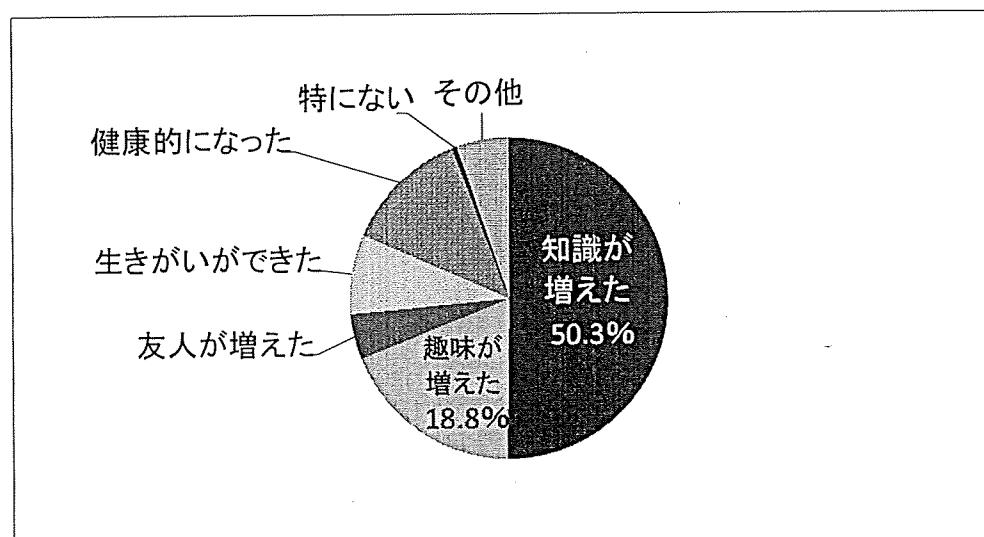
項目	関心があった	友人	仲間づくり	趣味作り	講師	ボランティア活動	その他	計
回答数	1,464	168	85	299	303	33	106	2,458
割合	59.6%	6.8%	3.5%	12.2%	12.3%	1.3%	4.3%	100%



※ 「関心があった」と答えた方が59.6%で、続いて「講師が良い」12.3%、「趣味にしたい」12.2%となった。講座内容を決める際は、いろいろな情報の中から興味を引くものや知つてもらいたいことなどを調査検討していく必要がある。

6 講座に参加して良かったことは何ですか？(複数回答)

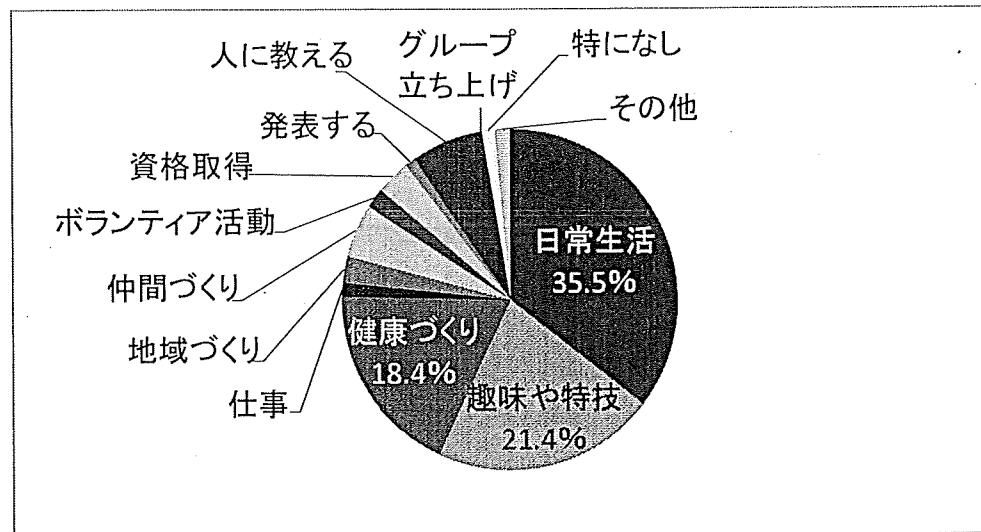
項目	知識が増えた	趣味が増えた	友人が増えた	生きがいができた	健康的になつた	なし	その他	計
回答数	1,382	497	120	212	336	12	141	2,650
割合	50.3%	18.8%	4.5%	8.0%	12.7%	0.5%	5.3%	100%



※ 「知識が増えた」「趣味が増えた」が合わせて約69%と、参加者の学習意欲を感じられるとともに、公民館講座が学習のきっかけづくりの役割を果たしていると思われる。また、「健康的になつた」という回答が約13%で続き、前向きな意見が多くかった。

7 今回の講座で学んだことをどのように活かしたいですか？(複数回答)

項目	日常生活	趣味や特技	健康づくり	仕事	地域づくり	仲間づくり	ボランティア活動	資格取得	発表する	人に教える	グループ立ち上げ	特になし	その他	計
回答数	1,041	627	539	39	74	149	57	96	29	196	7	35	41	2,930
割合	35.5%	21.4%	18.4%	1.3%	2.5%	5.1%	1.9%	3.3%	1.0%	6.7%	0.2%	1.2%	1.4%	100%



※ 「日常生活に活かす」「趣味や特技に活かす」「健康づくり」が合わせて約75%を占める。次に多いのが「人に教える」「仲間づくり」と続いている。各公民館の講座等を通して、市民の豊かな情操と教養、交流を深めながら、学んだことを友人に、そして健康で明るい地域づくり・仲間づくりに活かされることが期待される。

参考:アンケートに寄せられた要望や意見から

- 全体的に、「料理」「健康(体操等)」「歴史探訪」「歌」をテーマとした講座は人気があり、シリーズものとしても開催を希望する声が多い。
- 各地区や地区館の特性を活かした講座(地元の歴史・地元飲食店店主による講座・茶室のある館での茶道教室・等)を複数開催し、好評をいただいている。地元地区をより深く知ったり、愛着を持ってもらうための一助になっていると考えられる。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部講座は中止せざるを得なかった。また、感染症対策を行いながら実施をする中で定員を絞っているものもあり、回数や人数を増やして参加を望む声が聞かれた。
- 以前より、人気の講座については申込受付初日に応募が殺到したり、定員がすぐに一杯になってしまうといった課題がある。そのため、昨年度から「抽選」により参加者を決定する方式を一部の講座で取り入れている。来年度に向けてさらに利用者の利便性も高めるためにも、子ども向けの講座を対象に「佐久市公式LINE」アプリを用いた応募・抽選の仕組を取り入れる予定である。

公民館関係施設利用状況

1 利用件数

(単位:件)

区分	会館名	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
市民会館	浅間会館	令和2年度	43	4	342	432	419	497	504	584	494	351	391	423	4,484	
		令和3年度	348	366	467	418	132	217	401	493	407	168	30	79	3,526	
		令和4年度	299	294	441	441	393	342	381	359	350	341	343		3,984	
	中込会館	令和2年度	10	0	105	116	89	103	142	171	155	72	148	189	1,300	
		令和3年度	122	115	118	144	34	73	192	183	173	68	7	35	1,264	
		令和4年度	121	154	167	144	104	147	163	176	166	191	168		1,701	
	東会館	令和2年度													0	改築に伴い令和2年4月～令和3年11月まで貸館利用なし
		令和3年度									26	16	2	1	45	
		令和4年度	32	35	48	53	46	43	62	55	50	48	59		531	
	浅科会館	令和2年度	6	0	35	50	33	50	55	57	44	21	0	17	368	令和3年2月までは旧浅科会館の数値
		令和3年度	72	53	72	74	25	42	81	91	72	30	18	34	664	
		令和4年度	62	73	90	106	70	76	89	85	77	72	97		897	
	合 計	令和2年度	59	4	482	598	541	650	701	812	693	444	539	629	6,152	
		令和3年度	542	534	657	636	191	332	674	767	678	282	57	149	5,499	
		令和4年度	514	556	746	744	613	608	695	675	643	652	667		7,113	
市民創鍊センター	令和2年度	43	6	170	211	159	200	233	190	193	70	188	280	1,943		
	令和3年度	251	218	241	234	85	124	271	235	222	88	32	67	2,068		
	令和4年度	171	205	252	266	179	202	238	229	219	275	245		2,481		
駒の里ふれあいセンター	令和2年度	9	1	29	70	38	44	46	48	38	12	39	47	421		
	令和3年度	46	52	67	65	23	27	65	61	58	38	12	2	516		
	令和4年度	45	58	72	75	44	59	68	57	56	32	81		647		
中央公民館 所管施設	令和2年度	111	11	681	879	738	894	980	1,050	924	526	766	956	8,516		
	令和3年度	839	804	965	935	299	483	1,010	1,063	958	408	101	218	8,083		
	令和4年度	730	819	1,070	1,085	836	869	1,001	961	918	959	993		10,241		
生涯学習センター (野沢会館)	令和2年度	104	0	455	499	451	552	625	637	553	232	433	549	5,090	令和5年2月より新施設	
	令和3年度	477	440	487	475	188	283	477	559	461	183	62	100	4,192		
	令和4年度	322	425	456	422	371	378	483	454	404		275		3,990		
あいどぴあ臼田	令和2年度	9	9	142	183	164	179	207	207	192	73	161	206	1,732		
	令和3年度	184	181	202	220	64	95	211	197	187	60	15	52	1,668		
	令和4年度	114	135	176	186	141	147	182	192	173	194	208		1,848		
公民館関係施設 合計	令和2年度	224	20	1,278	1,561	1,353	1,625	1,812	1,894	1,669	831	1,360	1,711	15,338		
	令和3年度	1,500	1,425	1,654	1,630	551	861	1,698	1,819	1,606	651	178	370	13,943		
	令和4年度	1,166	1,379	1,702	1,693	1,348	1,394	1,666	1,607	1,495	1,153	1,476		16,079		

公民館関係施設利用状況

2 利用人数

(単位：人)

区分	会館名	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
市民会館	浅間会館	令和2年度	228	18	1,430	1,896	1,628	2,052	2,306	2,578	2,259	877	1,919	2,446	19,637	
		令和3年度	2,131	1,860	2,199	2,389	556	1,053	3,215	2,487	2,529	949	227	798	20,393	
		令和4年度	1,915	1,842	2,358	3,012	1,562	2,169	2,911	2,632	2,404	2,365	2,629		25,799	
	中込会館	令和2年度	59	0	991	1,270	927	1,233	1,313	1,742	1,472	570	1,301	1,532	12,410	
		令和3年度	1,351	1,341	1,226	1,651	317	570	1,521	1,797	1,544	629	53	361	12,361	
		令和4年度	918	1,307	3,026	1,257	732	1,320	1,514	1,774	1,470	2,030	2,229		17,577	
	東会館	令和2年度													0	改築に伴い令和2年4月～令和3年11月まで貸館利用なし
		令和3年度										227	121	175	7	530
		令和4年度	286	372	561	578	450	307	577	479	440	488	926		5,464	
	浅科会館	令和2年度	38	0	274	446	291	396	475	540	345	152	0	137	3,094	令和3年2月までは旧浅科会館の数値
		令和3年度	1,691	432	613	647	151	236	2,157	720	569	204	350	504	8,274	
		令和4年度	434	588	965	2,297	1,255	608	653	688	575	506	1,154		9,723	
	合 計	令和2年度	325	18	2,695	3,612	2,846	3,681	4,094	4,860	4,076	1,599	3,220	4,115	35,141	
		令和3年度	5,173	3,633	4,038	4,687	1,024	1,859	6,893	5,004	4,869	1,903	805	1,670	41,558	
		令和4年度	3,553	4,109	6,910	7,144	3,999	4,404	5,655	5,573	4,889	5,389	6,938	0	58,563	
市民創鍊センター	令和2年度	359	65	1,816	3,378	1,630	2,207	3,429	3,835	2,524	660	2,514	3,323	25,740		
	令和3年度	2,895	2,621	3,379	3,525	1,034	1,214	4,703	4,059	3,230	776	595	1,003	29,034		
	令和4年度	2,091	2,509	2,935	3,801	2,490	2,576	3,570	3,305	2,706	2,866	3,428		32,277		
駒の里ふれあいセンター	令和2年度	90	8	300	729	397	495	503	605	430	126	425	681	4,789		
	令和3年度	1,224	681	882	943	240	266	640	762	657	911	79	22	7,307		
	令和4年度	394	612	703	1,296	819	568	1,182	516	927	247	923		8,187		
中央公民館 所管施設	令和2年度	774	91	4,811	7,719	4,873	6,383	8,026	9,300	7,030	2,385	6,159	8,119	65,670		
	令和3年度	9,292	6,935	8,299	9,155	2,298	3,339	12,236	9,825	8,756	3,590	1,479	2,695	77,899		
	令和4年度	6,038	7,230	10,548	12,241	7,308	7,548	10,407	9,394	8,522	8,502	11,289	0	99,027		
生涯学習センター (野沢会館)	令和2年度	813	0	4,848	4,430	3,733	4,908	5,561	6,530	4,922	2,143	4,551	6,489	48,928	令和5年2月より新施設	
	令和3年度	7,146	3,591	4,089	4,275	2,090	2,756	6,868	6,798	4,163	1,680	665	1,313	45,434		
	令和4年度	2,825	3,439	3,693	5,453	5,005	2,813	3,756	5,339	3,197		2,261		37,781		
あいとぴあ臼田	令和2年度	239	352	2,504	2,940	2,565	2,730	3,519	3,316	2,823	899	3	3,617	25,507		
	令和3年度	2,720	2,722	3,588	3,470	1,097	1,667	3,692	3,152	2,853	845	272	776	26,854		
	令和4年度	1,882	1,997	3,082	3,124	2,571	2,178	2,880	3,269	2,590	3,203	2,902		29,678		
公民館関係施設 合計	令和2年度	1,826	443	12,163	15,089	11,171	14,021	17,106	19,146	14,775	5,427	10,713	18,225	140,105		
	令和3年度	19,158	13,248	15,976	16,900	5,485	7,762	22,796	19,775	15,772	6,115	2,416	4,784	150,187		
	令和4年度	10,745	12,666	17,323	20,818	14,884	12,539	17,043	18,002	14,309	11,705	16,452	0	166,486		

令和5年度 学級・講座事業計画

令和5年3月現在

浅間公民館

重点目標		○地域への関心を高める講座、幅広い年齢層が参加できる講座を開催する。 (1)子育て世代や親子向けの講座を開催し、若い世代の方でも気軽に参加できる講座を開催する。 (2)高齢者世代を対象とした新たなことへチャレンジできる講座を開催する。 (3)健康維持増進のため、継続して参加できる講座を開催する。									
学級名	No	区分	新規・継続	講座名	講座概要	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考	
市民ふれあい学級	1	家庭生活・趣味	継続	家庭菜園教室	趣味として楽しむことのできる家庭菜園のノウハウを講義で学ぶ。	60歳～70歳前後	7	3月～9月	岩下 武弘	全7回	
	2	家庭生活・趣味	継続	楽しく脳トレ！健康麻雀	指先と頭を使うゲームを行う事で健康長寿に資する。	60歳～70歳前後	8	5月～10月	大井潔	4回をワンセットとして2回開催	
	3	家庭生活・趣味	継続	洋風クッキング	若い世代を対象とし、若い世代が好む洋風料理を学ぶ。	30歳～50歳前後	2	9月・11月	内田 すみ江		
	4	芸術・文化	継続	クラフト教室	実際に家で使える小物を作成する。	40歳～70歳前後	2	1月	木内 公子	全2回 アシスタント有	
	5	教育	継続	人権学習講座	人権について学習する。	40歳～70歳前後	1	2月	人権同和教育推進員		
	6	自然科学	継続	自然観察教室	実際に現地を歩きながら季節の草花を観察し、自然について学ぶ。	40歳～60歳前後	1	5月	佐藤文一	下見有り・帯同有り	
	7	体育・スポーツ	継続	ストレッチ教室	ストレッチを通して自分の健康について考える。	40歳～70歳前後	12	4月・5月 6月・7月 9月・10月	益戸 早苗	4回をワンセットとして3回開催	
	8	家庭生活・趣味	継続	スマートフォン使い方教室	初心者を対象にスマートフォンの使い方を学ぶ。	60歳～70歳前後	4	11月・12月	スマートフォン指導員	2回をワンセットとして2回開催	
小計	8						37				
学級名	No	新規・継続	講座名	学習内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考		
親子ふれあい学級	1	△△△△△	継続	おやこDEおやつ	親子で参加しやすい夏休み期間を開催日とし、親子で協力しながらおやつを作る。	保・小学生とその保護者	2	7月	内田 すみ江	午前・午後の2回開催	
	2	△△△△△	継続	おやこDEパン作り	親子で参加しやすい夏休み期間を開催日とし、親子で協力しながらパンを作る。	保・小学生とその保護者	2	8月	内田 すみ江	午前・午後の2回開催	
	3	△△△△△	継続	オリジナルハンコをつくろう	親子で参加しやすい夏休み期間を開催日とし、夏休みの工作としても提出できるような作品を作る。	小学生とその保護者	2	8月	はんこやミツキ	午前・午後の2回開催	
	4	△△△△△	継続	まゆ玉でかわいい動物をつくろう	親子で参加しやすい夏休み期間を開催日とし、夏休みの工作としても提出できるような作品を作る。	保・小学生とその保護者	2	8月	矢ヶ崎 和子	午前・午後の2回開催	
	5	△△△△△	継続	ママ・パパ・子どもの3B体操	親子で一緒にできる体操を学ぶ。	幼児とその保護者	2	3月	佐藤 美穂	全2回 アシスタント有	
	6	△△△△△	継続	書初め教室	親子で参加しやすい年末年始休みを開催日とし、日本の正月行事である書初めを通して書道や伝統について学ぶ。	小学生とその保護者	1	1月	原野 節子		
	7	△△△△△	継続	親子あそび＆リトミック	親子のふれあいを目的に、音楽教育「リトミック」を使い歌って、動いて、親子のスキンシップを楽しむ。	幼児とその保護者	2	10月・12月	神津恭子 小山里美		
小計	7						13				
学級名	No	新規・継続	講座名	学習内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考		
世代間交流	1	△△△△△	継続	伝えたい佐久の味	季節に応じた佐久の伝統料理や地域の食材を使った料理について学ぶ。	50歳～70歳前後	4	6月～2月	佐久農村生活マイスターの会	アシスタント有	
	2	△△△△△	継続	小学生公民館体験学習	小学生を公民館に招き、地域の大人が多い学習グループを講師とした講座と一緒に体験することで、世代間交流を図る。	小学校4年生	1	6月	学習グループ	平根小学校4年生 パス利用有(送迎)	
小計	2						5				
学級名	No	新規・継続	講座名	学習内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考		
その他	1	△△△△△	継続	浅間地区公民館のつどい	公民館の学習グループや地域の皆様の一年間の学習成果を発表し、地域文化の向上を図るとともに、市民相互の交流を目的とする。	市民	1	2月	地区公民館・学習グループ		
小計	1						1				
合計	18						56				

令和5年度 学級・講座事業計画

令和5年3月現在

野沢公民館

重点目標		○地域の理解を深める講座や、健康など生活課題に対応した講座を開催する。 (1)身近な地域の歴史・文化を学び、地域の理解とその魅力を再発見する。 (2)誰もが迎える老後について考える講座と健康で過ごすための講座を開催する。 (3)技能を持った地域の人材を活用する。								
学級名	No	区分	新規・継続	講座名	講座概要	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考
市民ふれあい学級	1	家庭生活・趣味	継続	家庭菜園	野菜作りの基礎から学ぶ。	40歳～70歳前後	10	4月～11月・3月	佐久浅間農協 農地コーディネーター	圃場で現地研修も計画
	2	家庭生活・趣味	継続	酵素ドリンク教室	旬のりんごを使った酵素ドリンクを作る。	20歳～70歳前後	1	10月	高地 清美	
	3	体育・スポーツ	継続	100歳まで歩く筋肉づくり(全5回)	基本的な姿勢と正しい歩き方をみにつけ正しい筋肉を作り、寝たきり予防を目指す。	60歳～70歳前後	5	5月～6月	雨宮病院 小林 大樹	
	4	家庭生活・趣味	継続	佐久鯉料理教室	佐久伝統の味を学習する。	50歳～70歳前後	1	12月	佐藤 みつ子	
	5	芸術・文化	継続	茶道入門	初步的なお茶の作法やお手前などを学ぶ。	20歳～70歳前後	3	3月	滝沢 久江	(助手)
	6	芸術・文化	継続	楽しく歌おう	みんなで楽しく大きな声で歌う。	50歳～70歳前後	4	4月～12月	上野 ひとみ 大井 清子	ボランティア(謝金なし)
	7	市民生活・交流	継続	老後を自分らしく	誰もが迎える老後について考える。	50歳～80歳前後	4	1月・2月	山際・丸山・包括・市	
	8	自然科学	継続	身近な薬草とハーブ	佐久は薬草の宝庫、薬草の里「榛名平公園」で薬草に触れながら、その効用について学ぶ。ハーブで何か作る。	20歳～70歳前後	1	7月	佐久薬草研究会	薬草園・ハーブ園
	9	家庭生活・趣味	継続	薬膳料理	身近にある薬草で薬膳料理を作る。	20歳～70歳前後	1	9月	柳沢 素子	
	10	人文・社会科学	継続	人権講座	人権について学習し、意識の向上を図る。	50歳～80歳前後	1	11月	人権同和教育推進員	
	11	家庭生活・趣味	継続	フラワーアレンジ(お正月の花)	フラワーアレンジメントを飾り、新しい年を迎える。	50歳～70歳前後	1	12月	野沢字音クルーン フラワーデザイン教室	
	12	芸術・文化	継続	クラシック音楽入門	身近に生演奏を聞きながら、楽器についての知識を深め音楽に親しむ。	20歳～70歳前後	1	12月	佐久古楽合奏団	
	13	市民生活・交流	新規	大人の自然散策教室	自然の野山を歩き、心の癒を感じる。	40歳～70歳前後	1	8月～9月	NACS-J 自然観察指導員 倉澤 祥子	下見あり、助手あり、保健師あり 湯ノ丸高原・湯の丸山(または飯盛山)
	14	産業・技術	新規	スマートフォンの使い方教室	スマートフォンの基本操作から便利な使い方までを学ぶ。	50歳～70歳前後	2	1月	未定	
小計	14						36			
学級名	No	新規・継続	講座名	学習内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考	
親子ふれあい学級	1	継続	楽しい陶芸教室	親子一緒に陶芸を体験する。	小・中学生とその保護者(小学生高学年のみの参加も可能)	2	7月・8月	佐藤山 章彦	・7月16日(日)予定 作陶 ・8月 6日(日)予定 豆葉	
	2	継続	親子でおいしいパン作り	親子一緒にパン作りを体験する。	小学生とその保護者	1	7月	野沢学習グループ パン工房		
	3	継続	親子防災体験教室	親子で防災体験	小学生とその保護者	1	7月	長野LP協会	ボランティア(謝金なし)	
	4	継続	親子ふれあいハイキング	親子と一緒に自然にふれあい親睦を深める。	小学生とその保護者(幼児除く)	1	7月下旬～8月中旬	NACS-J 自然観察指導員 倉澤 祥子	下見あり、助手あり、保健師あり (飯盛山)	
	5	継続	親子ふれあいポッチャ体験教室	親子でパラスポーツ「ポッチャ」をで体験し交流を図る。	小学生とその保護者	1	8月	野沢学習グループ 相久(IQ)ポッチャ	相久(IQ)ポッチャ	
小計	5					6				
学級名	No	新規・継続	講座名	学習内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考	
世代間交流	1	継続	小学校公民館体験学習	小学校3年生を公民館に招き、学習グループとの世代間交流を図り、公民館活動を体験する。	小学校3年生	2	6月～7月	学習グループ	野沢小(1回)泉小・岸野小(1回)小学校3年生対象	
小計	1					2				
学級名	No	新規・継続	講座名	学習内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考	
その他	1	継続	野沢地区公民館のつどい	公民館の学習グループや地域の皆様の一年間の学習成果を発表し、地域文化の向上を図るとともに、市民相互の交流を目的とする。		1	2月～3月			
小計	1					1				
合計	21					45				

重点目標	○地域への理解が深まる講座、幅広い年代の方が参加できる講座の開催 (1)身近な地域を歩きながら、その歴史や文化、自然、産業、公共施設等について学び、接することで地域への理解を深める。 (2)技能を持った地域の人材を活用する。 (3)子育て世代や親子向けの講座を開催し、若い世代の方でも気軽に参加できる公民館活動を目指す。									
学級名	No	区分	新規・継続	講座名	講座概要	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考
市民ふれあい学級	1	体育・スポーツ	継続	ボディメイク講座～あなたの身体と心を満たします～	筋トレ・ストレッチ、脂肪燃焼プログラム、美姿勢トレーニング、ウォーキングなど、運動を通して、健康的な生活をサポートする。	50歳～70歳前後	4	5・6月	ケイジン健康運動センター職員	協力:社会医療法人恵仁会
	2	人文・社会科学	継続	中込地区歴史講座	中込地区にゆかりの歴史を学ぶ「長野種場所への海軍飛行場建設」(R3年度中止となった講座。今回は夏休み期間中にを行い、子どもの参加も促す)	50歳～70歳前後	1	8月	上原 美次	
	3	芸術・文化	継続	なつかしの歌・こころの歌	昔懐かしい歌、思い出の歌を、エピソードを交えて思い出を振り返りながら歌う。	50歳～80歳前後	4	6・9・12・3月	工藤 美智子 臼田 隆子	
	4	人文・社会科学	新規	高原鉄道小海線の魅力	小海線沿線の魅力を、バーチャル映像を使って再発見する。	20歳～70歳前後	3	6・10月	茂木 二剛	協力:JR東日本長野支社小海線営業所
	5	家庭生活・趣味	継続	包丁と鎌の研ぎ方教室	日常生活に必要な包丁や鎌を研ぐ技術を習得する。	50歳～70歳前後	1	9月	田中 廣治	講師補助:細谷 三義・池田 正直
	6	体育・スポーツ	継続	癒しのヨガ	初心者向けのヨガを体験し、心身ともにリラックスする方法を学ぶ。	20歳～60歳前後	2	1・2月	金沢 優子	
	7	家庭生活・趣味	継続	家庭でクリスマスパーティを	クリスマス料理作りを学び、家庭で活かす。	20歳～70歳前後	1	12月	内田 すみ江	
	8	体育・スポーツ	継続	高原を歩こう	トレッキングにより自然に親しみながら体を動かす。今年度は蓼科山登山。	50歳～70歳前後	1	9月	佐久アッセントクラブ	下見あり
	9	体育・スポーツ	継続	カラダいきいき健康講座	健康寿命を延ばすために、医師や栄養士、理学療法士などから家庭でできる健康法を学ぶ。	50歳～70歳前後	5	9月～11月	くろさわ病院医師等	
	10	教育	継続	人権講座	人権について学び、意識の向上を図る。	50歳～80歳前後	1	未定	未定	
	11	家庭生活・趣味	継続	そば打ち体験講座	地元産のそばを使つて、てのひ打ち方や茹で方を学びます。信州蕎麦打ち研究会(愛称:信州そばガキ隊)。中込地区にそば打ち道場ありの皆さんにご協力お願いします。	40歳～70歳前後	1	11月	信州蕎麦打ち研究会	講師協力:信州蕎麦打ち研究会(信州そばガキ隊)
	12	家庭生活・趣味	継続	おいしいコーヒーの入れ方講座	おいしいコーヒーの入れ方を学ぶ。	40歳～70歳前後	1	3月	神津 克彦	
	13	家庭生活・趣味	継続	プロの味を学ぼう 家庭で本格中華	家庭でできる簡単な味付けでプロの料理を学ぶ。講師 中込に店を構える中華照龍店主中村照久氏。	40歳～70歳前後	1	12月	中村照久	
小計	13						26			
学級名	No	新規・継続	講座名	学習内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考	
親子ふれあい学級	1	継続	子育て楽しみ隊 和ヨガ教室	初心者向けのヨガを体験する。子ども同伴可。	幼児とその保護者	2	5・6月	金沢 優子		
	2	継続	子育て楽しみ隊 ベビーマッサージ講座	親子でベビーマッサージを体験する。	幼児とその保護者	2	8・9月	棚田 賀奈子		
	3	継続	親子パン教室	夏休みに親子で一緒にパンづくりを体験する。	小学生とその保護者	1	8月	内田 すみ江	小学校を通じてチラシ配布(6月下旬)、館報7月号で募集	
	4	継続	トレジャーハンター！川で宝石を探そう	夏休みに鉱石を川で見つける	小学生とその保護者	1	7月	羽毛田卓也	小学校を通じてチラシ配布(6月下旬)、館報7月号で募集	
	5	継続	トレジャーハンター！探してみよう海の化石	夏休みに海の化石を山で探す。	小学生とその保護者	1	8月	渡辺 正喜	小学校を通じてチラシ配布(6月下旬)、館報7月号で募集	
	6	継続	木の実で工作教室	夏休みに自然の木の実を使って動物細工をつくる。	小学生とその保護者	1	8月	福島 政規	小学校を通じてチラシ配布(6月下旬)、館報7月号で募集	
	7	継続	親子書き初め教室	書道学習グループの指導を受けながら書き初めをする。	小・中学生とその保護者	1	1月4日	中込公民館 学習グループ	館報12月号で募集	
小計	7					4				
学級名	No	新規・継続	講座名	学習内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考	
世代間交流	1	継続	小学生公民館体験学習	学習グループとの交流を通して公民館について学習する。	小学校3年生	1	7月	武井 宣子・清水 桂子 中込公民館学習グループ (童謡唱歌・きり絵・書道・絵手紙)の交流	中込小学校3学年児童と学習グループ	
小計	1					1				
学級名	No	新規・継続	講座名	学習内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考	
その他	1	継続	中込地区公民館のつどい	公民館の学習グループや地域の皆様の一年間の学習成果を発表し、地域文化の向上を図るとともに、市民相互の交流を目的とする。		1	1月～2月			
小計	1					1				
合計	22					32				

令和5年度 学級・講座事業計画

令和5年3月現在

東公民館

重点目標		○地域への関心を高める講座、小学生から高齢者までの幅広い年齢層が参加できる講座を開催する。 (1)地域の学習グループや個人を講師に招き、地域の文化・歴史などを知ってもらう。 (2)新しい会館施設を活用した講座を開催する。 (3)子供たちに公民館活動に参加してもらい、関心を持つてもらう。								
学級名	No	区分	新規・継続	講座名	講座概要	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考
市民ふれあい学級	1	家庭生活・趣味	継続	家庭菜園教室	季節ごとに野菜の栽培・管理方法を学ぶ。	50歳～70歳前後	7	4月～10月	岩下 武弘	
	2	家庭生活・趣味	継続	料理教室	季節の旬な食材を利用した料理の作り方を学び、家庭でも実践してもらう。	30歳～70歳前後	2	6月・2月	内田 すみ江	それぞれ参加者を募集
	3	芸術・文化	継続	初めての茶道教室	茶道について学ぶ。	30歳～70歳前後	4	5月～1月	保坂真千子	それぞれ参加者を募集
	4	芸術・文化	新規	写経教室	写経を体験し学ぶ。	50歳～80歳前後	1	5月	坂部深雅	
	5	体育・スポーツ	継続	ヨガ教室	運動などで健康づくりに励む。	50歳～70歳前後	3	6月	臼田貴子	
	6	人文・社会科学	継続	法禅寺を知る	法禅寺の歴史について学ぶ。	50歳～70歳前後	1	9月	法禅寺住職	
	7	家庭生活・趣味	継続	くん製教室	くん製の作り方を学ぶ。	30歳～70歳前後	1	9月	くんせい同好会スマーケン	
	8	人文・社会科学	継続	人権講座	人権について学習し、意識の向上を図る。	30歳～70歳前後	1	10月	人権同和教育推進員	
	9	家庭生活・趣味	継続	手芸教室	クラフトテープを使って籠などを作成する。	50歳～80歳前後	3	10月	小林あや子	
	10	芸術・文化	継続	絵手紙教室	絵手紙の書き方を学び、実践する。	50歳～70歳前後	2	11月	岩本 幸枝	
	11	人文・社会科学	継続	歴史講座	香坂山旧石器遺跡について学ぶ。	30歳～70歳前後	1	11月	須藤隆司	
	12	家庭生活・趣味	継続	そば打ち教室	そばの打ち方を学ぶ。	30歳～70歳前後	1	12月	土屋しのぶ	
	13	家庭生活・趣味	継続	華道教室	正月用の生け花を学ぶ。	40歳～70歳前後	1	12月	佐藤由美子	
	14	体育・スポーツ	継続	介護予防体操教室	運動などで健康づくり、介護予防などに励む。フレイル予防体操を行う。	50歳～70歳前後	3	2月	茂原徹也	
	15	家庭生活・趣味	継続	きのこ栽培教室	きのこの栽培方法を学習し、家庭でも実践してもらう。	30歳～70歳前後	1	3月	森林組合職員	
	16	家庭生活・趣味	新規	スマホ教室	スマートフォンの使い方を学ぶ。	50歳～70歳前後	1	3月	未定	
小計	16						33			
学級名	No	新規・継続	講座名	学習内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考	
親子ふれあい学級	1	継続	陶芸教室	親子で協力しながら、自由な発想で陶芸品を制作する。	子どもと20代～40代	2	7月・8月	城田 領		
	2	新規	キッズヘアメイク教室	子どものお祭りや浴衣などに似合うヘアアレンジを学ぶ。	子どもと20代～40代	1	7月	熊谷亜希子		
	3	新規	料理教室	親子で協力して料理をつくる。	子どもと20代～40代	1	7月	内田 すみ江		
	4	継続	化石教室	親子で化石について学ぶ。	子どもと20代～40代	2	8月	高桑祐司		
	5	継続	作って遊ぼう	親子で協力しながら、作品を制作する。	子どもと20代～40代	1	8月	生涯学習課職員		
	6	継続	書初め教室	講師の指導を受け、書初めを行う。	子どもと20代～40代	1	1月	中嶋 嘉子		
小計	6					7				
学級名	No	新規・継続	講座名	学習内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考	
世代間交流	1	継続	小学生公民館体験学習	小学生に公民館活動を知ってもらい、新たなことに興味を持ってもらうきっかけを作る。	小学校4年生	1	6月	東地区館学習グループ		
小計	1					1				
学級名	No	新規・継続	講座名	内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考	
その他	1	継続	東地区公民館のつどい	公民館の学習グループや地域の皆様の一年間の学習成果を発表し、地域文化の向上を図るとともに、市民相互の交流を目的とする。		1	11月	一		
小計	1					1				
合計	24					42				

重点目標	○地域への関心や理解が深まる講座、実生活で役立つ講座の開催を通じ、豊かな人生を送ることを目標とする (1)市の自然や産業、公共施設について学び、佐久市への関心や理解を深める (2)地域の特色ある施設との連携をはかる (3)技能をもった地域の人材を活用し、参加者同士の交流を深め、地域での人の輪を広げる									
学級名	No	区分	新規・継続	講座名	講座概要	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考
市民ふれあい学級	1	芸術・文化	継続	ステンドグラス教室	ステンドグラスについて基本を学び、作品を創作する楽しさを知る。	20歳～80歳前後	5	4月～2月	中野 稔	補助1名
	2	自然科学	継続	星空ウォーキング！星の教室	地域の歴史を学習し、愛着心の醸成を目指す。	10歳～70歳前後	5	5月～3月	天体観測施設職員	
	3	人文・社会科学	継続	ふるさと学習	臼田地域の文化財等を巡り、歴史を学習し、愛着心の醸成を目指す。	50歳～80歳前後	2	5月～11月	上原美次	下見あり 看護師同行
	4	芸術・文化	新規	水彩画教室	水彩画初心者を対象に、基本を学び、作品を創作する楽しさを知る。	40歳～70歳前後	6	6月～8月	大工原 昌子	6,000×6回
	5	家庭生活・趣味	継続	炭酸まんじゅう講座	お彼岸に向けて、炭酸まんじゅうを作る。	40歳～80歳前後	1	9月	土屋 やよい	
	6	自然科学体育・スポーツ	継続	高山植物ウォッチング	植物観察とともに、自然保護に対する意識の高揚とマナーを学ぶ。	50歳～80歳前後	1	7月	井出 良二	下見あり 看護師同行
	7	体育・スポーツ	継続	元気長生き健康講座	健康維持のための体操やポイントなどについて学び、健康について関心をもつききっかけをつくる。	50歳～80歳前後	3	8月～10月	雨宮病院	
	8	産業・技術	継続	年賀状パソコン教室	パソコンで年賀状の作り方を学びながら、基本的なパソコン操作を覚え活用できるように操作を習得する。	60歳～80歳前後	3	11月	平林 稔子	補助:パソコンサークルびぴかねっと会員1名
	9	教育	継続	人権講座	人権について学習し、意識の向上を図る。	50歳～80歳前後	1	11月	人権同和教育推進員	
	10	芸術・文化	継続	切り絵教室	切り絵の技法を学び、オリジナルの図案を作成できるようにする。	50歳～80歳前後	4	5月～6月	六川 信幸	
	11	家庭生活・趣味	継続	そば打ち体験教室	そばの打ち方や茹で方を学び、家庭で気軽にそば打ちができるように、技術を習得する。	50歳～80歳前後	1	12月	佐久おやじの会	前日準備有
	12	芸術・文化	継続	書初作品展	書道の成果を発表し、互いの作品を鑑賞することで、励みにする。	10歳～80歳前後	1	1月	成沢 泰広 加藤 勝登	賞状筆耕(シルバー人材センターへ依頼)
	13	体育・スポーツ	継続	体操教室	様々な部位の体操を学ぶことで、健康意識を高める。	50歳～80歳前後	4	1月～2月	中島 洋子	
	14	家庭生活・趣味	継続	暮らしに役立つ生活講座	高齢者や家族が安心して生活できることを学ぶ。	50歳～80歳前後	1	5月～12月	臼田地域包括支援センター職員	
	15	家庭生活・趣味	継続	季節の料理教室	家庭で手軽にできる料理を学ぶ。	50歳～80歳前後	1	9月～1月	土屋 やよい	
小計	15						39			
学級名	No	区分	新規・継続	講座名	学習内容	対象	回数	実施時期	講師・指導者	
親子ふれあい学級	1		継続	飯ごう炊さんと星の教室	飯ごう炊さんを体験し、たき火の基本や火の怖さなどを学ぶ。また、夜は星の観察を行い、星の魅力を知るきっかけづくりをする。	幼・保・小学生とその保護者	1	7月	佐久おやじの会	
	2		継続	ステンドグラス教室	ステンドグラスの基本を学び、創作する楽しさを知る。	小学生とその保護者	2	8月	中野 稔	補助1名(1日:5,000円)
	3		継続	キッズinあいとぴあ	遊びや物づくりに体験をとおし、親子でふれあい楽しむ。	幼・保・小学生とその保護者	1	7～11月	未定	6,000×5団体
	4		継続	親子で楽しむ科学マジック教室	ゲーム感覚で科学を楽しみ親子でふれあう。	幼・保・小学生とその保護者	1	8月	木内 孝雄	
	5		継続	ふるさと写生大会	福荷山公園及びその周辺での風景の写生をとおして、絵を描く楽しみを知るとともに、ふるさとの愛着心を育て、情操豊かな心を育む。	幼・保・小学生とその保護者	1	11月	井出 宏 伴野 平	
	6		継続	写生大会審査	多くの人に観賞してもらい、さらに審査して賞をつけることで、より一層の励みと向上心を培う。		1	11月	"	
小計	6						7			
学級名	No	区分	新規・継続	講座名	学習内容	対象	回数	実施時期	講師・指導者	
世代間交流	1		継続	小・中学生公民館体験学習	学習グループとの交流をとおして、公民館を身近に感じ、学ぶきっかけとする。	臼田地区4小学校3年生臼田中学校	2	5月～7月	学習グループ	
	2		継続	子ども小満太鼓教室	地域の伝統文化である小満太鼓を継承するとともに、練習をとおして、礼儀作法や協調性を養う。	小学2年～6年生	15	5月～3月 土曜日開催	臼田小満太鼓愛好会	
	3		継続	しめ縄づくり教室	しめ縄の作り方を習得し、生活に役立て、伝統文化の継承に努める。	20歳～80歳前後	1	11～12月	内藤幸子	補助1名
小計	3						18			
合計	24						64			

委託	No	新規・継続	講座名	学習内容	対象	回数	実施時期	講師・指導者	
つどい	1		臼田地区公民館のつどい	公民館の学習グループや地域の皆様の一年間の学習成果を発表し、地域文化の向上を図るとともに、市民相互の交流を目的とする。		1	3月		
小計	1					1			
合計	25					65			

重点目標		○多くの市民の方に参加してもらえる講座や、防災と生活に結びつく講座の開催 (1)男性や若い世代を参加対象とした講座を開催する。 (2)伝統・文化を学習し、後世に伝えていく。 (3)障がい者との交流を深める講座(機会)を開催する。								
学級名	No	区分(下欄を参照)	新規・継続	講座名	講座概要	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考
市民ふれあい学級	1	体育・スポーツ	継続	姿勢改善ヨガ教室Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(各全3回)	ローラーやボールを使いながら体のコリをほぐし、姿勢改善をはかる	30~70歳代	9	5~6月・8~9月・1~2月	山浦 佳子	Ⅱ・Ⅲについては初めての方を優先して受付
	2	家庭生活・趣味	継続	手打ちそば講座	初心者が手打ちそば作りを学ぶ講座	40~70歳代	1	11月	土屋 しのぶ	
	3	家庭生活・趣味	継続	パッチワーク講座(全2回)	パッチワークの手法の一つである「スカラップキルト」を学ぶ講座	女性 50~70歳代	2	5~6月	丸山 文子 柳沢 一江	講師2名
	4	家庭生活・趣味	継続	簡単!くんせい講座	くんせいの作り方や、くんせいした食材を使った料理を学ぶ講座	50~70歳代	1	5月	くんせい同好会スモークン	東公民館学習グループ
	5	市民生活・交流	継続	浅科音頭講習会(全2回)	浅科ドンと音頭、ミナコイ賛歌等の踊り方を学ぶ講座。8月14日のどんどん祭りに参加し、踊ることを目的とする。	40~80歳代	2	8月	浅科民踊レクレーションクラブ	
	6	体育・スポーツ	継続	浅科地区公民館対抗野球大会	浅科地区の地域公民館間で野球とバーレーボールの対抗戦を行う	20~70歳代	1	8月	硬式野球審判員	排球は相互審判の予定
	7	家庭生活・趣味	継続	炭酸まんじゅう教室Ⅰ・Ⅱ	お墓参りやお盆に欠かせない、昔ながらの「まんじゅう」作りを学ぶ	女性 60~70歳代	2	6月・9月	きままなクラフト倶楽部	Ⅱについては初めての方を優先して受付
	8	家庭生活・趣味	継続	草木染講座	身近にある植物等を使って、草木染を体験する講座	女性 50~70歳代	2	7月	サークルミモザ	
	9	家庭生活・趣味	新規	料理教室	季節に合わせた料理を学ぶ	女性 50~70歳代	2	10月	サークルミモザ	
	10	芸術・文化	継続	体験! デッサン教室	地域にゆかりのある洋画家である山本文彦先生をお招きし、人物デッサンを学ぶ	小学生~70歳代	1	9月	山本 文彦	講師1名、アシスタント3名(依田 直行、高橋 ひわ、田中 好文)、モデル2名
	11	家庭生活・趣味	継続	ママの料理教室	子育て世代でも参加しやすいよう、託児付とし、子どもが喜ぶ料理を学ぶ	20~40歳前後	1	7月	内田 すみ江	託児あり
	12	芸術・文化	継続	切り絵教室年賀状編(全2回)	切り絵の基本を学び、年賀状に向けての作品を仕上げる	50~70歳代	2	11月	竹内 芳枝	
	13	芸術・文化	新規	初心者茶道教室(全3回)	茶道の基本を学ぶ講座(表千家)	50~70歳代	3	10月	滝沢 久枝	学習グループ講師
	14	教育	継続	人権講座	身近な人権について考えるきっかけとしてもらう講座	40~70歳代	1	11月	人権同和教育推進委員	身近な人権について
	15	家庭生活・趣味	継続	クラフト講座(全3回)	クラフトテープでおしゃれな筆を作る	女性50~70歳代	3	12月	木内公子	助手1名
	16	芸術・文化	継続	生け花教室(各1回)	華道の基本を学ぶ講座(草月流)	女性 50~70歳代	2	12、2月	武重 みち	正月用とつぞい展示作品、助手各1名
	17	家庭生活・趣味	継続	飾り巻き寿司教室	時期にあった巻き寿司の作り方を学ぶ講座	女性 40~70歳代	1	10月	菊原 訓子	前日仕込み、当日午前に下拵え、午後開講
	18	体育・スポーツ	継続	さわやか3B体操(全3回)	ボール・ペル・ペルダーの3つの手具を使って、音楽に合わせて楽しく体を動かす体操講座	50~70歳代	3	2~3月	佐藤 美穂	
小計	18						39			
学級名	No	新規・継続	講座名	学習内容						
親子ふれあい学級	1	継続	身近な自然 水源地に出かけよう	身近な「水」をテーマに水源地を訪ねながら学習する講座	10代~50代	1	7月	佐久水道企業団職員		
	2	継続	親子で楽しむ陶芸教室 (作陶・釉掛けを午前・午後に分け2回開催)	参加しやすい休日を開催日とし、親子で協力して陶芸を体験する講座。大人のみの参加もOK	10代~50代	4	7月	学習グループ「陶友会」		
	3	継続	防災とラジオ工作教室	身近な防災を学び、災害時に役立つラジオを作る講座	10代~50代	1	8月	危機管理課員 日本無線(株)	日本無線(株)の協力(工作キット含)で無償	
	4	継続	おやこDE料理	親子で参加しやすい休日に、親子で協力しながら料理を作る	保・小学生とその保護者	1	12月	内田 すみ江	託児なし	
小計	4						7			
学級名	No	新規・継続	講座名	学習内容		開催回数	実施時期	講師・指導者	備考	
世代間交流	1	継続	囲碁・将棋体験講座	小・中学生に囲碁・将棋を体験してもらう講座。大人の参加もOK	10代~80代	1	1月	学習グループ「囲碁愛好会」	小中学校、公民館にチラシやポスターの配布を予定	
	2	継続	囲碁・将棋大会	若い方から年配の方まで同じ場所で対戦し、年齢を超えた交流を図る	10代~80代	1	1月	学習グループ「囲碁愛好会」		
小計	2						2			
学級名	No	新規・継続	講座名	内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考	
その他	1	継続	浅科地区公民館のつどい	公民館の学習グループや地域の皆様の一年間の学習成果を発表し、地域文化の向上を図るとともに、市民相互の交流を目的とする。		1	2月	—		
小計	1					1				
合計	25					11				

重点目標		○地域への関心や理解が深まり、実生活で役立つ講座の開催を通じ、豊かな人生を送ることを目標とする。 (1)市の自然や産業、公共施設について学び、佐久市への関心や理解を深める。 (2)地域の特色ある施設との連携をはかる。 (3)技能をもった地域の人材を活用し、参加者同士の交流を深め、地域での人の輪を広げる。								
学級名	No	区分	新規・継続	講座名	講座概要	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考
市民ふれあい学級	1	家庭生活・趣味	新規	男子のキッチン	男性向けの料理教室を開催し、男性が家族のために料理ができるよう教室を開講する。料理作りを通して仲間作りをする。	50歳~70歳前後	3	6月~8月	内田すみ江	各回ごとに参加者を募集
	2	家庭生活・趣味	継続	家族の笑顔が一番「しあわせクッキング」	簡単で手軽にできる料理を学びながら、健康や栄養について意識を高め家族の食卓を豊かにする	30歳~70歳前後	3	10月~1月	内田すみ江	各回ごとに参加者を募集
	3	家庭生活・趣味	継続	趣味のデジカメ教室	デジカメの撮影技術を学ぶとともに、共通の趣味について語り合う場づくり。初心者だけでなく、中級者以上の参加も可とする。	50歳~70歳前後	2	6月	諸山孝之	撮影会と作品講評
	4	家庭生活・趣味	新規	癒しの盆栽講座	素人でも簡単に挑戦できる「ミニ盆栽」「苔玉」講座を開講し、関心ある市民に学習機会を提供する。	40歳~70歳前後	3	1月~3月	片桐巖(園芸店)	現在講座の内容について交渉中
	5	家庭生活・趣味	継続	蘭クラフト講習会	蘭の持つ素朴で風合いのある素材を生かして作品をつくる。	40歳~70歳前後	2	6、2月	望月まゆの会	
	6	人文・社会科学	新規	佐久地域の城跡を学ぶ	望月地域の山城の構造・小諸城の成り立ちと構造を学ぶ	40歳~70歳前後	3	5月・10月	福島邦男 小諸市学芸員	座学1 現地研修2
	7	教育	新規	終活講座 ~人生の終い方を学び考える~	相続・エンディングノートのほか、「終末期医療・介護」についても取り上げる。誰もが不安に思っている「人生の終い方」について学習する場とする。	50歳~70歳前後	3	5月・6月	司法書士 佐久総合病院	
	8	教育	継続	人権講座	人権について学習し、意識の向上を図る	50歳~70歳前後	1	12月	人権同和教育推進員	人権同和課
	9	市民生活・交流	継続	そば打ち名人講座	連続3回の講座を開講し、1回の体講座ではなく趣味にできるまでの技術を習得する。	50歳~70歳前後	3	11月	鈴木茂	
	10	体育・スポーツ	継続	気軽にらくらくストレッチ教室	気軽にどなたでも参加できるストレッチ(柔軟体操)体操を通じて、交流を深める	30歳~70歳前後	8	5月・6月 8月~10月	益戸早苗	4回をワンセットとして2回開催
小計	10						31			
学級名	No		新規・継続	講座名	学習内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考
親子ふれあい学級	1		継続	もちづき子ども祭り	親子に体験講座と芸術鑑賞の場を提供する。実行委員会を組織し、地域で子どもたちを支えることを意識づける。	幼児~大人	1	7月	もちづき子ども祭り 実行委員会	実行委員会により計画・運営
	2		継続	親子ふれあい劇場	音楽や演劇を鑑賞し親子のふれあいの機会をつくる	幼児~大人	1	12月	もちづき子ども祭り 実行委員会	実行委員会により計画・運営
小計	2						2			
学級名	No		新規・継続	講座名	学習内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考
世代間交流	1		継続	愛唱歌合唱講座うたごえホール	童謡や唱歌、最新曲などを歌い交流を深める	40歳~80歳前後	9	4月~3月	小林美智子	
	2		継続	望月小唄民踊流し講習会	歴史ある望月小唄の踊り方を学び、踊りへ参加する	20歳~80歳前後	1	8月	望月小唄保存会	
小計	2						10			
学級名	No		新規・継続	講座名	学習内容	想定する参加対象者	開催回数	実施時期	講師・指導者	備考
駒の里ふれあいセンター大ホールを、市内アマチュア演奏家の発表の場とし市民には芸術鑑賞の機会を提供する。(入場無料) 本年は中学校の吹奏楽を予定し、コミュニティースクール事業に協力。	1		新規	ふれあいセンター ホール活用事業	駒の里ふれあいセンター大ホールを、市内アマチュア演奏家の発表の場とし市民には芸術鑑賞の機会を提供する。(入場無料) 本年は中学校の吹奏楽を予定し、コミュニティースクール事業に協力。	小学生以上	1	9月	望月中学校・浅科中学校 立科中学校	3中学校の吹奏楽部による合同演奏会。中学生には運営・広報に参加してもらうよう計画している。
	2		継続	踊り参加(望月小唄民踊流し)	望月小唄を踊り踊りを盛り上げる	小学生以上	1	8月	踊り実行委員会	
	3		継続	望月地区公民館のつどい	公民館の学習グループや地域の皆様の一年間の学習成果を発表し、地域文化の向上を図るとともに、市民相互の交流を目的とする	望月地区文化団体等	1	11月	つどい運営委員会	
小計	3						3			
合計	17						46			